

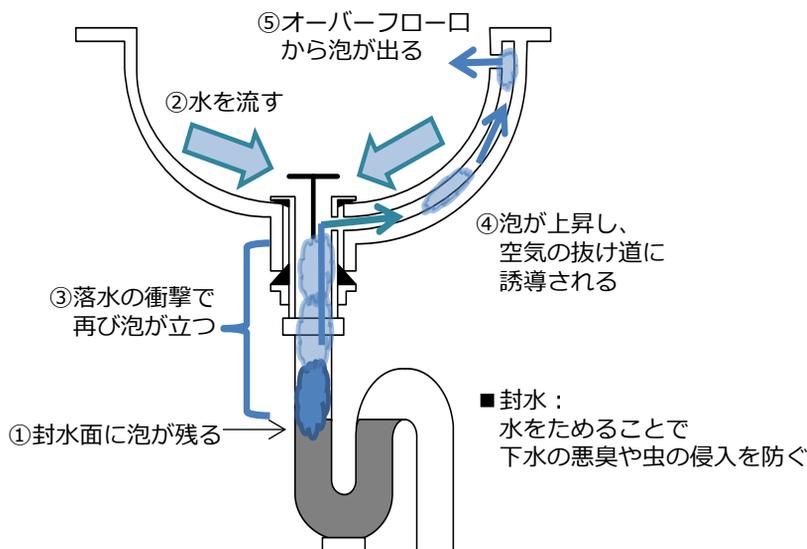
Q 洗面化粧台のオーバーフロー口（くち）から泡が出てくるのはなぜ？

A オーバーフロー口（くち）は、洗面ボウルに水を溜めるときに溢れそうになった水を排水したり、大量に水を排水したりするときに、排水口内の空気を逃がすためのものです。本来、泡は水に溶けて流れていきますが、洗剤の特性によっては泡が水に溶けにくかったり、溶けた泡が水の勢いで再度泡立ちすることがあります。水を流したときに排水トラップ内で再度泡立つと、逃げ場を失った泡は空気が逃げるオーバーフロー口の方へ移動し、オーバーフロー口から出てくる場合があります。ハンドソープは製品によって「泡立ちが良い」、「泡が長持ちする」、「泡切れが良い」などの特性があり、「泡立ちが良い」タイプや「泡が長持ちする」タイプのハンドソープで手洗いをするとオーバーフロー口から泡が出てくる場合があります。当現象は洗面化粧台の異常ではありませんので、オーバーフロー口から出てきた泡は十分な水で洗い流してお使いください。

解説

■ 現象のメカニズム

ハンドソープにて手洗い後、洗面ボウルに水を流すと、封水面に残ったハンドソープが水の勢いで排水口内で再度泡立ち、泡は軽いので、空気が抜けるオーバーフロー側へ移動し、オーバーフロー口から泡が出てきます。



一口メモ ハンドソープに記載の適正量で手洗いした場合でも、オーバーフロー口から泡が出てることがあります。泡が気になる場合は、「泡切れが良い」タイプのハンドソープのご使用をお奨めします。